

2007年2月27日

クラブ製造業者宛

---

## クラブフェースマーキングとスピン発生

R&A が他の研究に加えて、スピン発生についての研究プロジェクトを開始したことをクラブ製造業者の方々にお知らせした 2005 年 3 月 30 日付けの「現在関心のある分野」の手紙に加えてお知らせいたします。それ以来、貴殿はこの研究過程と得られた結論を詳細に記述している 2 つのレポートをお受け取りになったと思います。それらは 2006 年 8 月と 2007 年 1 月にすべてのクラブ製造業者に配布されました。研究結果は R&A ウェブサイトで閲覧可能です ([www.randa.org](http://www.randa.org))。

全米ゴルフ協会 (USGA) と協力して、R&A はクラブフェースマーキングのインパクト過程への影響を調査してきました。このプロジェクトの主な推進力は、1990 年代初頭からのプレーヤーの成績統計の分析から明らかになったのですが、ティーからのドライビングの正確性と PGA ツアーでの金銭的な成功との相関関係に非常に大きな低下が見られたことについての私たちの懸念から生じました。

広範囲の研究を経て、クラブフェースマーキングはラフから打たれたボール、特に薄いウレタンカバーを有するボールに対してスピンの影響を与えるということが実証されてきました。こうしたマーキングの縁の鋭さは、断面積や溝の間隔とともに、U 字溝が一般的に使用される前の時代（すなわち、V 字溝が必須であったとき）と比べて、ラフから著しくスピンを増加させました。私たちの研究は、現行のクラブフェースマーキングの規定に、提案されている溝の縁の鋭さとインパクトエリア内の溝の体積への追加的な制限を加えれば、ラフから発生するスピンは (V 字溝の使用を必須としなくても) V 字溝によって発生するスピンと相応になることを確実にすることを示しました。

2002 年 5 月に R&A と USGA が共同で発行した原則の共同声明で、私たちはプレーヤーがスキルではなく技術的進歩に過度に頼りすぎることを防ぎ、スキルがゲームを通じての主要な成功の要素であることを確保したいと望んでいることを強調しました。この告知の目的は、私たちの研究結果とこうした重要な原則を十分顧慮して到達した提案について、貴殿のご意見を正式に求めることです。

### 新規則案

この提案はゴルフ規則付属規則 5a に含まれている規定をクラブフェースマーキングに関して改正することです。ほとんどの現行の規則は変わらずに残り、ドライビングクラブとパター以外のクラブについて 2 つの追加的な規定が提案されています。

- 溝の総断面積を溝のピッチ (溝幅 + 間隔) で割った値が 0.0025 スクエアインチ/インチ (0.0635 mm<sup>2</sup>/mm) に制限される
- 溝の縁の鋭さは有効最小半径 0.010 インチ (0.254 mm) に制限される

より詳細についての情報は、この告知文に添付されているドラフト版の新しい規定案（解説図表を含む）と溝の測定手続きの概略をご参照ください。

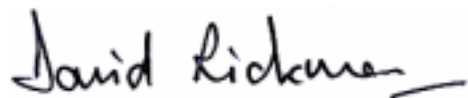
#### 実施案

採用された場合、こうした新しい規定は 2008 年 1 月 1 日より発効のゴルフ規則に含まれるということが提案されていますが、その実施は遅れることになるでしょう。高い技術を有するプレーヤーたちに限定された競技では、この規則は 2009 年 1 月 1 日から競技の主催者によって「競技の条件」としての施行が可能となります。しかしながら、多くのクラブ（特にアイアン）はこの新しい規定に対してもはや適合とはなくなるであろうという事実を認識しており、その他の競技の委員会には 2010 年 1 月 1 日より前に製造された該当するクラブについてこうした規定の適用を差し控える権限が与えられることでしょう。

#### 現行の適合クラブの取り扱い

現在、そうした適用除外がいつ終了するのかということについて正式な提案はありません。私たちは現行の規則には適合しているが、提案されている新しい規則には不適合となると思われるクラブの長期的な取り扱いについての貴殿のご意見を歓迎します。エリートでないゴルファーによってそうしたクラブが引き続き使用されることを認めるため、少なくとも 10 年間の妥当な譲歩の期間があるべきであるということが提案されています。そうした譲歩の期間は、そうしたクラブにゴルファーが行った投資を認めようとし、通常の購買パターンの範囲内で新しい規定に適合するクラブへの移行を手助けすることを試みます。

この文書と添付書類に概略が説明されている提案についてのご意見は、2007 年 8 月 1 日までにセントアンドリュース、R&A オフィスの私宛に提出されなければなりません。緊急を要するご質問がある場合、どうぞご遠慮なさらずに私にご連絡ください。



**DAVID RICKMAN**

Director of Rules & Equipment Standards